2024 年 8 月 5 日

産業遺産学会 2024 年 8 月 4 日期限臨時理事会メール記録

（1） 8 月 2 日 7:03 横山悦生氏発信メール

送信先；小西、秋葉、市川、尾崎、後藤、菅野、鈴木、時里、中山、藤本、川島
本文；小西理事長、理事の皆様
理事長の提案について、いくつか質問があります。
１）ご提案の「メール理事会」は議事録として記録されなければならないと思いますが、きちんと事務局に議事録として保管されるのでしょうか？
２）理事長が先週に行った、ZOOM 理事会のための日程調整の結果を知らせずに、8 月 1 日深夜まで連絡がなかったのは何故か？
３）総会での反論資料としての A4 1 枚は少なすぎます。メルマガに使用した文章量と比べても不公平であると思います。
最低でも 3 枚はいただきたい。また、これから大学の試験と評価をしなければならない多忙期なので、資料原稿の締め切りは最低 8 月 20 日までは延期していただきたい。
４）今回は重要な問題であるので、「メール理事会」ではなく、きちんと ZOOM 理事会を開催すべきです。
５）臨時総会は規約に則って運営されるべきです。　まず ZOOM 総会を実施して、その後ハガキによる全員による投票でなされるべきだと思います。

（2） 8 月 2 日 7:21 議長返信メール

送信先；横山
CC;秋葉、市川、尾崎、後藤、菅野、鈴木、時里、中山、藤本、川島
本文；横山様
お答えします
１）理事会の議事録は、規約第 28 条にしたがってすべて保管しています
２）予定はお尋ねしましたが、開催通知は出していません
３）横山様からも総会資料が多すぎるというご指摘をいただいています
会員に事実を簡潔に、わかりやすく伝え、会員が正しく理解できることを最優先に 1 頁としました
臨時総会は速やかに開催することをうたっていますので、延期は認めません
４）総会は定例総会と同形式で実施するため、書面で十分であると判断しました
　　変更しません
５）規約に反する事項はありません

小西伸彦

（3）8月2日15:38菅野理事発信メール

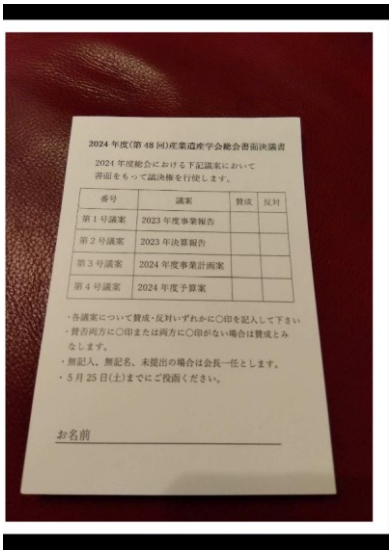
送信先；小西
CC;秋葉、市川、尾崎、後藤、鈴木、時里、中山、藤本、横山
本文；小西　理事長　様、
質問にお答え下さい。
Q1
７月24日に理事会の照会と参加可能日の登録依頼がありましたが、
それから連絡なく、急に”拙宅の建前と重なったため”との理由で、
８月１日の理事会を見送ったとの事ですが、何故、期限付きのメールの
理事会に変更になったのでしょうか？
次の週からの参加可能日での対応は可能だと思いますが。
総会のやり方や議論の会話記録が残るのが困るからでしょうか？
Q2
総会資料の弁明にA4 1枚のみという要求は、メルマガの5ページ分の
記載文書と比較し、あまりに不当な少ないページ数ですが、何故
１ページという事を提案されているのでしょうか？
２ページ以上では困る理由は何ですか？
Q3
本年度の正式な会員数は会長からは227と聞いていますが、それは
正しいのでしょうか？
Q4
総会が成立するために必要な参加者の数は会員の1/2以上が必要と理解
していますが、もし1/2以下の返信しかない場合は、投票は不成立となると
理解していますが、それでいいでしょうか？
ご返答をお待ちしております。
菅野

（4）8月2日16:37議長返信メール

送信先；菅野
CC;秋葉、市川、尾崎、後藤、鈴木、時里、中山、藤本、横山
本文；菅野理事様
お答えします。
１、理由は書いたとおりです。
　　速やかな臨時総会開催に向け、速やかな臨時理事会を開くためです。

２、メルマガとは内容がまったく異なります。
　　会員にわかりやすく、ただしい内容を伝えるためです。
３、236 と記憶しています
４、2024 年度総会の返信はがきをご覧ください
小西伸彦

（5）8 月 2 日 22:10 菅野理事発信メール
送信先；小西
CC;秋葉、市川、尾崎、後藤、鈴木、時里、中山、藤本、横山、川島、横山
本文；小西　理事長　様、
ご回答を有難うございます。
ご指摘の総会の返信ハガキについて確認させて頂きました。
参考にそのコピー写真を添付しています。
その総会決議書の中に、
”無記入、無記名、未提出の場合は会長一任とします”
という、注意書きがあります。
その内容について質問させて頂きますので、よろしくご回答をお願いします。
Q1.
未提出の場合は、総会に参加したことにはならないと思います。
通常の郵送で、学会員に送っても、受領確認もできないし、また未提出の
本人の意志とは無関係に、会長にすべて一任するというのは学会員の権利を
はく奪するやり方だと思います。
意図的に多くの幽霊会員まで入れた学会員にも郵送し、返事のハガキが来ない
ことが分かって悪用し、過半数の参加者として処理することも防げません。
それゆえ、総会の必要な半数の参加者にそれらの未提出の学会員を数としていれるのは、
全くおかしいと思います。
このやり方は変える必要があり、総会参加人数は返信した学会員の数に限定するように変
える必要があると思います。
Q2.
未提出の場合は会長に一任するという言葉の、”会長”は臨時総会前の状況では
横山会長と理解しますが、それでいいでしょうか？
理事長と会長のそれぞれのご意見が違い、対立している状況での、返信用の
ハガキの位置づけは非常に大事になりますので、よろしく、学会員のためにも明確なご回
答をお願いします。
菅野



2024年度(第48回)産業遺産学会総会書面決議書

2024年度総会における下記議案において
書面をもって議決権を行使します。

番号	議案	賛成	反対
第1号議案	2023年度事業報告		
第2号議案	2023年決算報告		
第3号議案	2024年度事業計画案		
第4号議案	2024年度予算案		

・各議案について賛成・反対いずれかに○印を記入して下さい
・賛否両方に○印または両方に○印がない場合は賛成とみなします。
・無記入、無記名、未提出の場合は会長一任とします。
・5月25日(土)までにご投函ください。

お名前

（6）8月3日0:09議長返信メール

送信先；菅野
CC;秋葉、市川、尾崎、後藤、鈴木、時里、中山、藤本、横山、川島、横山
本文；菅野理事様
お答えします。
１、名古屋で開いた2023年度総会および姫路での2024年度総会と同じ形式で行います。
　今回の臨時総会のみ特別な形式で行うことはしません。
　ただし収支を考慮して書面総会とします。
２、７月18日をもって横山悦生会長は更迭され、理事長が会長代行に就任しましたので、臨時総会では「会長代行一任」とします。
臨時理事会では議案の賛否のみをお答えいただきます。
ご納得いかない場合は否決くださってけっこうです。
以降、問答不要とします。
小西伸彦

（7）8月3日17:57菅野理事発信メール

送信先；小西
CC;秋葉、市川、尾崎、後藤、鈴木、時里、中山、藤本、横山、川島、横山
本文；小西　理事長　様、理事各位さま、
同じ形式の返送ハガキを2023年と2024年に使用したということであれば、その2年度は返信ハガキの未発送の学会員を参加扱いにし、学会員の会費を意図的に過半数の採決に、取り入れ、理事会の都合のよいように、誘導したと考えざるを得ません。これは、学会の会員からの資金の不当な使用になり、法的に違反行為にあたります。

返信ハガキから、この文面を削除し、ハガキの返送があった会員のみを総会参加者にしない限り、総会の決議には、このやり方の返信ハガキは使えないと思いますので、修正をお願いします。
それと、理事会は総会への退任欲求の議案は採択できますが、退任を命じることはできない事は、規約にも明確です。小西理事長は、会長代行ではなく、理事長で横山さんが会長なのは、誰が考えても正しいです。8 名の理事の意見が揃ったからといって、横山さんを会長から外すことはできません。
上記の事を、小西さんや理事の方々が総会のやり方として議論し、正しい総会の開催をお願いします。
菅野

（8） 8 月 4 日 7:38 横山悦生氏発信メール
送信先；市川、中山、小西
CC;秋葉、尾崎、後藤、菅野、鈴木、時里、藤本、川島
本文；小西理事長
　今回の臨時総会で 6 月の総会と同じやり方をすることは誰が考えても公正な選挙ではありません。
　返信の数が多くなることは当然予想されます。それを入れないのが公正な選挙です。
　もし、それを強行するならば、この選挙は不当なものとなり、無効になります。
　文面から未提出者の削除をお願いします。　　横山

以上